

2025 年度第 1 回特定放射光施設ユーザー協同体評議員会 議事録

日時：2025 年 4 月 17 日(木) 9 時 15 分 ~10 時 15 分

場所：オンライン

参加者：

(評議員) 朝倉清高、雨宮健太、有馬孝尚*、石井賢司、和泉篤士、内田公典、大河内拓雄、沖充浩、北川宏、木村英彦、佐々木宏和、田中義人*、西堀英治、藤原明比古*、松井高史、水牧仁一朗*、矢代航、山下博雅、米村光治、綿貫徹

(オブザーバー) 生越満、西村勇人、土手 陽子、矢板毅、山口章、井上哲也、久保田康成

(執行部) 虻川匡司、大和田謙二、久保田佳基、杉本邦久、田中眞奈子、永村直佳、南後恵理子、松村大樹、

(事務局) 岡田行彦、古川美奈

欠席者：

(評議員) 足立伸一、磯村典武、大川侑久、尾原幸治、北川進、坂田修身、西堀麻衣子、原田慈久、松田巖*、水木純一郎

但し、*は執行部でもある評議員

議題

会長挨拶

2025 年度評議員紹介 (資料 1)

審議事項

1. 2025 年度活動方針 (資料 2)
2. SpRUC 組織体制 (資料 3)
3. SpRUC 細則の変更 (資料 4)
4. 特定放射光施設ユーザー協同体の会員等に係る個人情報保護ポリシーの英訳 (資料 5、別紙 1)
5. 行事活動
 - (ア) 第 25 回 SPring-8 夏の学校 (資料 6)
 - (イ) 第 9 回 SPring-8 秋の学校 (資料 7)
 - (ウ) 特定放射光施設シンポジウム 2025 (資料 8)
6. 会計
 - (ア) 2024 年度決算 (資料 9)
 - (イ) 2025 年度予算 (資料 10)

報告事項

1. SpRUC ロゴマーク (資料 11)
2. 2024 年度活動報告
 - (ア) 行事实施概要 (資料 12)
 - (イ) 研究会活動状況 (資料 13)
 - (ウ) 動向調査報告書 (資料 14)
 - (エ) JASRI・SPRUC・理研又は QST との三者会合 (資料 15)
3. SPRUC 2024 年度決算 (資料 16)

その他

1. 第 14 回 Young Scientist Award の概要 (資料 17)
2. 今後の予定 (資料 18)

議事録

- (1) 議事に先立って藤原会長より挨拶があった。
- (2) 久保田庶務幹事より資料 1 に基づき、2025 年度評議員紹介があった。

審議事項

- (1) 2025 年度活動方針：藤原会長より、資料 2 に基づいて活動方針の説明が行われた。個活動全般 (SpRUC の基盤強化)、科学技術的活動 (ユーザーの充実)、連携 (放射光利用研究者、量子ビーム研究者コミュニティーの充実)、発信 (納税者への説明責任→施設の充実) について説明がなされた。
- (2) SpRUC 組織体制：引き続き藤原会長より、資料 3 に基づいて SpRUC 組織体制の説明が行われた。新組織である SpRUC に関して、SPring-8 ユーザー協同体をベースとして、NanoTerasu ユーザー共同体を含める形で組織体制を作り上げた旨の説明がなされ、(1) 2025 年度活動方針と合わせて承認された。
- (3) SpRUC 細則の変更：久保田庶務幹事より、資料 4 に基づいて SpRUC 細則の変更に関する説明が行われた。機関代表者からの評議員推薦に関して学術研究機関と産業機関を分けて定める旨の説明がなされ、承認された。
- (4) 特定放射光施設ユーザー協同体の会員等に係る個人情報保護ポリシーの英訳：久保田庶務幹事より、資料 5 及び別紙 1 に基づいて個人情報保護ポリシーの英訳文についての説明が行われ、承認された。
- (5) 行事活動 (第 25 回 SPring-8 夏の学校)：田中副会長 (夏の学校校長) より、資料 6 に基づいてすでに募集が始まっている SPring8 夏の学校 (SpRUC 後援) について説明が行われた。山下評議員より、企業の新人などに対する研修として利用することは可能であるかという質問があり、田中副会長より SPring-8 秋の学校が相当する旨の説明がなされ、承認された。
- (6) 行事活動 (第 9 回 SPring-8 秋の学校)：松村行事幹事 (秋の学校担当) より、資料 7

に基づいて SPring-8 秋の学校開催計画（案）（SpRUC 主催）について説明が行われた。山下評議員からの先の質問を受けて、秋の学校は放射線業務従事者登録が必要なく夏の学校より幅広く募集をしている旨の説明がなされ、承認された。

- (7) 行事活動（特定放射光施設シンポジウム 2025）：水牧利用幹事（SPring-8 担当）より、資料 8 に基づき特定放射光施設シンポジウム 2025 の開催計画（案）について説明が行われた。東北大学にて SPring-8 と NanoTerasu との協奏的利用をテーマとして開催する旨の説明がなされ、承認された。
- (8) 会計（2024 年度決算）：南後会計幹事より、資料 9 に基づき 2024 年度決算について説明が行われた。
- (9) 会計（2025 年度予算）：引き続き南後会計幹事より、資料 10 に基づき 2025 年度予算（案）について説明が行われた。JASRI 井上審議役（オブザーバー）より、前年度の繰越金と同額を本年度の次期繰越金として支出予算に計上していることに対し、特別な理由があるのかという質問があった。藤原会長より、SPRUC より前の SPring-8 利用者懇談会から引き継いだものであり、利用者懇談会の時は会費を徴収していたため収入に余裕がありそれが引き継がれている、繰越金を切り崩す積極的な理由が無いためこのままにしているが、前の評議員会でも議論になったところであり、今後継続して議論する必要があると認識している、旨の説明があった。これに対し、井上審議役より、いつまでも残す必要が無ければ一部使っていくこともあるのかと思う旨の発言があった。(8) 会計（2024 年度決算）と合わせて承認された。

報告事項

- (1) SpRUC ロゴマーク：久保田庶務幹事より、資料 11 に基づきロゴマークについての報告が行われ、デザインが決まったこと、商標登録は調査中であること等の説明がなされた。
- (2) 2024 年度活動報告（行事实施概要）：久保田庶務幹事より、資料 12 に基づき SPring-8 シンポジウム 2024 などの 2024 年度行事实施概要の説明が行われた。
- (3) 2024 年度活動報告（研究会活動状況）：久保田庶務幹事より、資料 13 に基づき第 7 期研究会活動状況の説明が行われた。
- (4) 2024 年度活動報告（動向調査報告書）：久保田庶務幹事より、資料 14 及び別紙 2 に基づき動向調査報告書に関する説明が行われた。
- (5) 2024 年度活動報告（JASRI・SPRUC・理研又は QST との三者会合）：久保田庶務幹事より、資料 15 に基づいて JASRI・SPRUC・理研又は QST との三者会合についての説明が行われた。
- (6) SPRUC2024 年度決算：審議事項の中ですでに説明がなされたため資料 16 に基づく説明は省略された。

その他

- (1) 第 14 回 Young Scientist Award の概要：杉本行事幹事（シンポジウム担当）より、資料 17 に基づきすでに募集が始まっている第 14 回 Young Scientist Award の概要について説明が行われた。
- (2) 今後の予定：久保田庶務幹事より、資料 18 に基づいて今後の予定の説明と確認が行われた。
- (3) その他：事務局より、審議事項における山下評議員の発言を受け、SPring-8 ではいくつかの研修会を実施しているため積極的に利用していただきたい旨の説明があった。また、冒頭の評議員紹介に間に合わなかった評議員の紹介がなされた。

以上